

2005年12月9日

日本コカ・コーラ株式会社
コカ・コーラ ナショナルビバレッジ株式会社
北海道コカ・コーラボトリング株式会社

「コカ・コーラ 1.5ℓ PET ボトル」と「ダイエットコカ・コーラ 1.5ℓ PET ボトル」 自主回収について

日本コカ・コーラ株式会社（本社：東京都渋谷区渋谷、代表取締役社長：魚谷雅彦）
コカ・コーラ ナショナルビバレッジ株式会社（本社：東京都港区六本木、代表取締役社長：
ギー・ウォーラート） 北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：北海道札幌市清田
区、代表取締役社長：北島義俊）は、北海道地区で販売しております「コカ・コーラ 1.5ℓ
PET ボトル」と「ダイエット コカ・コーラ 1.5ℓ PET ボトル」の一部に、開栓時にキ
ャップが飛ぶ可能性がある製品が含まれることが判明したため、お客様の安全を第一に考
え、万全を期して当該製品を自主回収することを決定いたしました。

今回発生した不具合は、キャップの装着工程において、一部の製品でキャップが強く巻き
締められたため、キャップ内側のネジがボトルネジに乗り上げ、キャップとネジとの引っ
かかりが浅くなったことによります。通常、炭酸製品は開栓時に容器内圧力が解放される
構造となっていますが、不具合品は引っ掛かりが浅いため、開栓時に勢いよくキャップが
はずれることがあります。

不具合の原因は、今回使用したキャップの材質が従来のキャップに比べて温度変化による
材質硬度にばらつきが発生しやすく、一部のキャップが軟らかくなったため、巻き締めが
強くなったことによります。再発防止のため、すでに品質検査を強化し、従来の材質のキ
ャップに戻しました。

なお、下記ロット以外の 1.5ℓ PET ボトル製品および他パッケージ製品については、
問題がないことを確認しています。当該製品は北海道社の札幌工場で製造されたもので、
出荷・販売エリアは北海道のみです。回収対象数は約7万5千ケースと想定しています。
製品の中身の品質に問題はありません。

お客様に対しては、当該製品の出荷・販売エリアである北海道をカバーする主要新聞各

紙に、明日 12 月 10 日（土）付の朝刊へ社告出稿をする他、本日 18 時より日本コカ・コーラ社および北海道社のウェブサイト上で告知します。

今後は再発防止に努め、より一層の管理体制の向上に努める所存です。

記

回収対象製品： コカ・コーラ 1.5 ℓPETボトルおよびダイエット コカ・コーラ 1.5 ℓPETボトルのうち、未開栓で次の製造所固有記号と賞味期限のもの。

製造所： 札幌工場

製造所固有記号： HSA

賞味期限： コカ・コーラ 1.5 ℓPETボトル 060422、060506
ダイエット コカ・コーラ 1.5 ℓPETボトル 060422、060508
* 製造所固有記号と賞味期限はキャップに記載しています。

販売地域： 北海道

製品回収方法： お客様から該当の製品を料金受取人払いで次のあて先まで送付いただきます。折り返し、ギフト券をお送りします。

製品送付先： 〒350 0856 埼玉県川越市問屋町3 10
日本コカ・コーラ 受付事務局

以上

< 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先 >

日本コカ・コーラ株式会社 コーポレートブランディング&コミュニケーションズ本部
広報担当 TEL03-5466-8120
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報担当 TEL011-888-2091

お客様からのお問い合わせ先： TEL0120-308509